



廿日市市立佐伯中学校 令和6年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

10月号 (No.16)

令和6年

10月25日(金)

自転車交通安全教室

10月7日(月)に広島県警察本部、廿日市警察署、JA共済連広島支部の皆様のご協力により、プロのスタントマンが自転車の事故を実演し、事故のおそろしさを知ってもらうことと、交通ルールを守ることの大切さを伝える教室が開かれました。

※ここに掲載している画像はNHKから許可をいただいています。

はじめにスタントマンが自転車をこぎながら携帯電話で通話したりヘッドホンを着けたりして、事故につながる危険な運転を紹介しました。

そして、通話しながら走る自転車と傘を差しながら走る自転車が衝突する事故や、点滅する青信号を急いで渡った2台の自転車が交差点の中で衝突する事故の実演が行われました。

「危ない!」(ガシャン!自転車同士が激しくぶつかり、大きな音をたてて乗っていた人達も倒れてしまいます)

「大丈夫ですか?」(特別な訓練を受けているスタントマンは、何事もなかったように立ち上がります)



そのほかにも、見渡しの悪い交差点の渡り方など、悪い例を交えて説明がありました。演技だとわかっているにもかかわらず、とても迫力がありましたね。リアルな事故の実演を前に生徒の皆さんも真剣な表情でした。

また警察官による講話も行われ、道路交通法の改正で11月からは携帯電話を使いながらの自転車の運転

には罰則が科されることを説明したほか、通学する時だけではなく運転するときにはいつもヘルメットを着用するよう呼びかけてくださいました。また、「中学生は、自転車を使用する機会が多いと思いますが、自転車は車両だということを忘れずにルールを守って運転してほしい」と話しておられました。

自転車事故の原因の大半は「確認不足」だそうです。皆さん気を付けましょう。





生徒代表が取材を受け、自転車を運転するときに気を付けたいことを答えていました。

台湾（基隆市）訪問を終えて

廿日市市が取り組んでいる交流事業として、廿日市市の中学生10名が10月15日から19日まで基隆（キールン）市を訪問しました。本校からは、片山琳紗さんが参加しました。片山さんは、出発前の学校集会で、英語と中国語で自己紹介を披露してくれました。

現地では、ホームステイ先のホストファミリーと交流したり、7つの中学校で学校紹介をしたりしました。（写真は、片山さんが佐伯中学校を紹介している様子です。）

ホストファミリーとの交流の様子、訪問先の中学校による歓迎セレモニー、また現地の中学生と一緒に海洋博物館に訪問したり、恐竜生態園で体験活動したり、授業を受けたり、部活動の様子などの写真はたくさんありましたが、残念ながら一緒に写っている人たちの許可を得ることができませんので、ここに載せることはできません。



なお、授業などは全部英語でした。ある中学校の時間割表を見ると8時間目までありました。

無事に帰国した片山さんの感想です。

(1) 印象に残ったこと

○ホストファミリーの方が全員とても優しく、コミュニケーションをたくさん取ってくれて嬉しかったです。本当の家族のように接してくれ、とても居心地が良かったので、私にとって台湾での家族です。

○夜市では台湾ならではの雰囲気を感じました。台北101では、90階という高いところに行くととてもいい眺めでした。

○どの学校も大きくて広かった。百福中でのピザづくりが楽しかったし、他では授業で木登りがあってとても驚きました。

(2) 事前に準備したこと

○日本のお土産や、自分の中での覚悟です。

(3) 後輩へのアドバイス

○英語や他言語を話すことを恐れなくてください。常に自分に自信をもって、いろんな人とコミュニケーションをとることが大切です。